

ビジネス NOW



株式会社ドラグーン

代表取締役 鎌田 学さん

秋田発「ご当地レンタカー」登場

自動車販売・整備業の株式会社ドラグーン（秋田市八橋）が12月8日、川連漆器や榊細工など秋田の伝統工芸で車内を装飾した観光専用レンタカー「秋田ご当地レンタカー」を発表した。「地域の課題をビジネスで解決す

る」ことを目指し、2017年4月に本格稼働をを目指す同事業。その成り立ちや特徴について、同社代表の鎌田さんに聞いた。

「昨年9月頃、川連漆器の若手制作者グループと出会ったのがきっかけです。制作者の皆さんは、川連漆器の売り上げを伸ばすために、なんとか新しいものを作り出そうとされていました。そのなかで『川連塗り』の技法

か、その付加価値を誰に訴求すればいいのかわからず、現状が続いていました。」

「観光と車の接点は。今年に入り、官公庁の予算が昨年の100億円から250億円に上がったことで、観光と車を結びつける視点が生まれ、レンタカー事業であれば

当社でも取り組めると考えて、さらに企画を練りました。」

県内でのレンタカーの使われ方は、新幹線や飛行機などで秋田へ観光に来た方の二次交通が中心です。そこで、秋田に来た次の瞬間から、秋田の文化を感じられる「観光専用のご当地レンタカー」を考案しました。観光の醍醐味は異文化に触れる感動にあると考えて、車内で秋田の伝統工芸品に触れられるのがコンセプトです。この企画は観光業界の方にも好評で、手応えを感じています。」

「今回発表した展示車では、メーターパネルに川連漆器、ハンドルの一部

に榊細工、ヘッドレストに秋田八丈を採用。内装にコストがかかる分、車体を状態のよい中古車にすることでバランスを取りました。」

今後は、秋田杉の芳香剤の導入や秋田犬のラッピングなどのほか、車内にタブレット端末を設置して、伝統工芸品のネットショッピングができる形も考えています。」

今後の予定は。「本事業の本格稼働は2017年4月、台数は3台を予定していますが、今年12月に前倒した運転席まわり

で作った車の内装部品に活用できないかと相談を受けたんですね。私自身はその提案を面白いと思いつつも、果たして誰が買うのか、訴求する価値を誰に訴求すればいいのかわからず、現状が続いていました。」

「観光と車の接点は。今年に入り、官公庁の予算が昨年の100億円から250億円に上がったことで、観光と車を結びつける視点が生まれ、レンタカー事業であれば

当社でも取り組めると考えて、さらに企画を練りました。」

県内でのレンタカーの使われ方は、新幹線や飛行機などで秋田へ観光に来た方の二次交通が中心です。そこで、秋田に来た次の瞬間から、秋田の文化を感じられる「観光専用のご当地レンタカー」を考案しました。観光の醍醐味は異文化に触れる感動にあると考えて、車内で秋田の伝統工芸品に触れられるのがコンセプトです。この企画は観光業界の方にも好評で、手応えを感じています。」

「今回発表した展示車では、メーターパネルに川連漆器、ハンドルの一部

に榊細工、ヘッドレストに秋田八丈を採用。内装にコストがかかる分、車体を状態のよい中古車にすることでバランスを取りました。」

今後は、秋田杉の芳香剤の導入や秋田犬のラッピングなどのほか、車内にタブレット端末を設置して、伝統工芸品のネットショッピングができる形も考えています。」

株式会社ドラグーン
<http://www.rabiru.jp/>



▶川連塗りや榊細工をあしらった運転席まわり

▶「秋田ご当地レンタカー」を示すマーク